



ふれあい



● 2005 ● Winter ● Vol.7 ●



表紙によせて

4階病棟は、外科・整形外科を中心とした混合病棟です。昨年は、スタッフステーション、病室、トイレの改修などのリニューアルを行い病棟全体が明るい雰囲気になりました。私たちスタッフ一同もフレッシュな気持ちで患者さまが気持ちよく、安心して療養生活が送れるよう、環境を整え、医師や他部門の人たちと連携をとり、患者さまの立場に立った、よりよいケアが提供できるよう頑張っています。

4階病棟 藤嶋 登志子

理念と基本方針

- <理念> 私たちは医療の担い手としての責務を自覚し、研鑽を重ね「人と人とのふれあい」を大切に、地域の住民の皆様に一層の信頼を得られる医療を提供し地域社会に貢献します。
- <基本方針>
1. 患者様の立場を尊重し納得と同意に基づく医療を実行します。
 2. 地域の中核病院として地域の皆様の診療、健康保持、健康増進に努めます。
 3. 医療技術と知識の習得に努め良質で高度な医療を提供出来るよう努めます。

新春座談会 『2005年度の運営方針とその展望』

《参加者》



副院長：左から藤原 英一
上坂 好一



院長：楠本 亨



看護部長：十河 美子

■基本方針

楠本 新年にあたり、中期運営方針を確認しておきたいと思います。病院の方針は毎年大きく変わるものではありません。したがって、本年度も昨年に掲げました3つの方針 ①高齢者に対する医療の充実、②当院に合った急性期医療の拡充、③病気の予防・健康増進の医学 をひきつづき実行していきたいと思っています。

■高齢者に対する医療の充実の具体案

院長 まず最初に、益々高齢者が増え続ける世の中に対応し、特にリハビリテーションの充実を考えております。リハビリ医療は高齢者のみならずどの世代でも必要な分野ですが、特に高齢者の患者さまの在宅復帰には重要な役割を担うものだと思います。今や脇役ではなく主役として大きな役割を占めております。今年は倉敷中央病院のリハビリテーション科の医師と連携をさらに強化し、スタッフ、設備ともに拡充を行ない、4月にはリハビリテーション科をスタートさせ当院の大きな特長の一つに育てていきたいと考えています。

上坂 そうですね、内科領域のリハビリテーションも脳疾患の寝たきりの患者さまが多くなる傾向ですから今まで以上に充実させる必要があると思いますね。

藤原 同感ですね。整形外科領域だけでなく内科、外科、その他いろんな分野でリハビリテーションのニーズが高まっていることを肌で感じています。そのため病院としては是非ともリハビリテーションを拡充することにより、地域の皆さまに対してよりよい治療を受けていただく体制を整える必要性を感じます。

十河 看護部としてもベッドサイドのリハビリテーションはとても大切だと思っております。理学療法士、作業療法士と連携をとりながら、病棟での訓練も看護師の役割分担のひとつと考えております。患者さまのスケジュールに合わせて積極的に行っていきたいと思っています。そのために看護師や他部門スタッフ個々のベッドサイド教育をもっと充実させる体制を病院として整える必要も感じます。

院長 私もそう思います。訓練室だけで行うリハビリテーションだけでは不十分だと思います。治療効果を上げるために看護師もリハビリテーションの中に入っていき、以前よりもっとベッドサイドリハビリテーションを充実させていくことにより、患者さまの一日も早い回復をと願っております。藤原先生にも指導協力してもらい頑張ってください。

十河 はい、今後とも看護師も研修会、講習会などに積極的に参加し、勉強していきたいと思っています。

■当院に合った急性期医療の拡充の体制

院長 次に、岡山県南西部のそれぞれの病院では、急性期医療に特化する病院、あるいは慢性期の療養型を指向する病院と色分けがかなりはっきりとしてきています。そんな中で当院は一般から介護までいろいろな患者さまに対応できるケアミックスの体制をとっています。この体制の中で内科では今後どのようにそれぞれの患者さまに対応していこうとお考えですか。



上坂 当院は、救急の患者さまに対して即座に対応できる救急体制ではありません。したがって、当院の急性期医療はいわゆる高度医療ではなくむしろプライマリーとしての急性期、あるいは入院患者さまの急変時の対応などが主たるものになってくると思います。

高度医療が必要な患者さまは、倉敷中央病院へ紹介していきたいと思います。

藤原 そうですね。倉敷中央病院との連携を柱にしまして、大学病院や他の医療機関との連携をとりながら、対応していきたいですね。なんといっても整形の分野にしましても広い領域ですので、連携をとりながら治療にあたることはとても大切だと思っております。

院長 両先生のお話の中で、急性期の患者さまのことができてきました。その患者さまの状態にも程度がいろいろあると私は思っております。当院のような中規模病院で診れる急性期の患者さま、倉敷中央病院や大学病院で治療が必要な患者さま、その見極めが大切だと思います。患者さまも近くて気軽に相談でき、可能なかぎり治療してもらえる病院を必要としています。地域の皆さまが必要だと考えて頂ける、地域のニーズにあった病院づくりを目指していきましょう。

藤原 いろいろな患者さまを診れる病院、また若いスタッフが元気で働いている活力ある病院づくりを目指していきたいですね。

■病気の予防・健康増進の医学のために

院長 JFE スチール株式会社やその関連企業あるいは地元企業の皆様の健康診断をさせてもらっています。このこと自体が地域の皆様の病気の予防、健康増進に役立つことであり、当院にとっても地域の皆様と当院を結ぶ大きな財産であると思います。

今後この健康診断後のフォローアップを充実させることが重要だと思います。健康診断後の精密検査についてのご意見をお願いします。

上坂 健康診断で大切なことの一つとして癌などの悪性腫瘍の発見があります。そのため侵襲性の少ないCT、血液検査などの精密検査を当院で積極的にやりましょう。また当院で可能な侵襲性の検査として、内視鏡検査、組織検査などがあります。この検査は大腸・胃がんの早期発見に有効で、またヘリコバクター菌検出、そして除菌による胃・十二指腸潰瘍の治療成績向上、胃がんの予防にも貢献します。このように悪性腫瘍のふるいわけを行ない、より精密な検査を必要とする患者さまは倉敷中央病院に紹介していきましょう。今後当院としても多くの信頼性のある精密検査ができる体制を人員や設備面からも整える必要があるでしょう。

院長 精密検査について、様々な問題もありますが、今年も昨年以上に、皆様の健康改善・維持・増進に協力してまいります。



Dr. だより

川崎病のお話

小児には長い間、原因不明の病気があります。川崎病という病気です。今から30数年以上も前に、川崎富作博士がこの病気の子供に気付いて以来、小児科医や研究者がいくら努力をしても原因がわかりません。特異的な検査診断法也没有ありません。



小児科 杉田 真喜雄

そこで (1) 5日以上続く発熱、

(2) 手足のむくみや発疹、

(3) 全身の発疹、

(4) 結膜の充血、

(5) 赤いくちびるや舌、

(6) リンパ節の腫脹等の臨床症状や白血球の増多、

炎症反応の強陽性等の検査



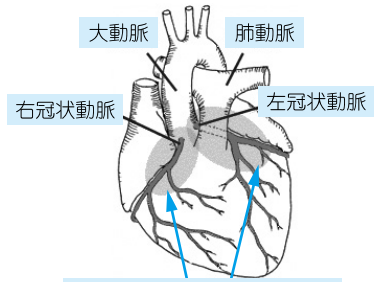
全身の発疹



結膜の充血



赤いくちびるや舌



冠状動脈ができやすいところ

を総合判断して診断することになります。

正式には急性熱性皮膚粘膜リンパ節症候群と言われます。

この病気が一番困る合併症は、稀に心臓の冠状動脈に動脈瘤ができることです。将来、狭心症や心筋梗塞を生じる可能性があります。これに対しては最近、免疫グロブリン製剤の大量投与法によって早く全身の炎症症状をとれば、心臓の合併症が非常に減少することがわかり、特効薬となっています。しかし、軽快後も心臓超音波検査にて定期的なフォローが必要です。また、血液が固まりやすい状態が続くことがあるのでアスピリン製剤による抗凝固療法も併用します。

この病気は日本では毎年、約6000人位発生しており、外国でも増加しています。当院でも平成16年1月～4月に3例も経験しました。年齢的には1歳台をピークにして4歳以下で約80%を占めます。また2～3%で再発することもあります。いずれにしろ小児の難治性疾患の1つであり注意が必要です。

じょうずな糖尿病とのつきいかた

その1 食事療法の基本

糖尿病の食事療法は、食べすぎない、偏った食べ方をしないことが基本です。

つまり、特別な食事があるわけではなく、糖尿病食はバランスのよい健康食、長生き食なのです。

食事療法の基本は・・・

- ① 食事を抜いたり、まとめ食いしたりせず、規則正しい食事習慣を身に付けましょう。
- ② 腹七分目を守りましょう。
- ③ 食べてはいけない食品はありません。偏食せずに、色々な食品を食べましょう。
- ④ 薄味に慣れましょう。

栄養治療室 小川 裕子

糖尿病食のクリスマス献立例

- ・米飯・・・170g
- ・ローストチキン (鶏肉モモ・・・110g)
- ・コンソメジュリアン
- ・ミモザサラダ
- ・果物(いちご・・・30g) (キウイ・・・40g)



当院のクリスマスの夕食

JFE西日本野球部 優勝おめでとう!



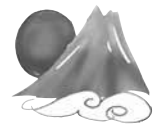
第31回社会人野球日本選手権大会が大阪ドームにて11月20日より開催されました。JFE西日本野球部としては、2回目の出場で、みごと優勝の栄冠に輝きました。28日の決勝戦では、序盤からピンチの連続でしたが持ち前の粘り強さで切り抜け、延長15回福竹選手のホームランで勝ち越し田中投手がピシャリと押さえ、多くの応援の皆さんが総立ちで熱い声援を送り、選手は私たちに感動を与えてくれました。

薬剤室 阿河 輝雄



ヤッター V!

Voice 職員の声 我が家のお正月



ここ最近の正月に特別な動きのない我が家です。子供中心に過ごしているので、大晦日は“焼肉”夜10時頃にそばを食べ、テレビもアニメがぶっ通しで流れています。

私も見たいテレビがないので、何故か掃除をよくして過ごしている気がします。そして、睡魔に負けた人から布団へ移動していくというパターンで元旦は寝正月状態です。しかし、今年は、下の子供が1年生になるので、なんとなく心機一転で初詣に出かけるつもりです。まっ、家族4人揃って迎えられることに幸せを感じています。

手術室 畑 啓子



ここ何年かは、外国の地で初日の出を見てきました。今年は、少し老いを感じる父とメバル釣りをしながら過ぎ去った申年の反省を語り合い、年々太めになる母には、感謝の気持ちを込めてお年玉を渡しました。また、昨年嫁いだ妹の家に行って妹のおせち料理をご馳走になりました。「一年の計は、元旦にあり」の言葉もあるので、このお正月に酉年をどう過ごすかを自分なりに考え、飛躍する年になれるように頑張ります。

リハビリ室 村井 誠司



病院玄関もお正月



売店 辻 文子 作



お正月とはいえ、普段と変わらない生活…

24時間営業中です。

お年玉は中身よりポチ袋のキャラクターの評価で盛り上

がる息子達。

年賀状の友人の子供達をみて大きくなったなあと年を感じる。平成17年もいつもと変わらない平凡な1年でありますように…

3階病棟 加藤 みゆき



明けましておめでとうございます。各ご家庭で、それぞれのお正月を迎えられ

たことと思います。私のお正月は、恒例のごとく「吉と出るか、凶とでるか、今年初めの運勢一発勝負!」パチスロ・パチンコに出かけました。皆さんは良いお正月を迎えられましたか?

私は…。初詣では、笑顔の多い年になりますようにとお願いしました。

5階西病棟 小林 美由紀



連島南中学生の職場体験

11月17日～19日に連島南中学校の二年生3人が、病院職場体験学習にやって来ました。19日には、臨床検査室での体験学習があり、3人共、とってもかわいい女の子で、私たちの説明をキラキラした目で興味深げに聞いてくれました。彼女たちのおかげで、こちらまで若い気分させてもらい、遠い学生時代の頃を思い出しました。彼女たちに検査室や私たちがどのように写ったのかは、定かではありませんが、有意義な職場体験をしていただけたと、確信しています。

臨床検査室 今城 美佐子



何が見えるかな？



秋の全国火災予防運動スタート、院内で消防訓練が行なわれた

院内の消防訓練に参加しました。訓練の進行を私がメインで行なうと聞いたときはドキドキしてできるかなと心配でした。看護補助者と2人で何回も練習し、いざ本番へ…。



練習の甲斐があり、本番では少し緊張したものの、声かけも、ホースの取り扱いもスムーズに2人とも真剣に取り組むことができました。職員一同の協力で無事消防訓練を終えることができました。外では消火器を使っての実演も指導してもらいました。今まで以上にいざという時はきちんと出来るようになったと思います。今度は地震災害に備えての訓練も指導してもらいたいと思います。

5階東病棟 藤澤 まり子

餅つき&ふれあいバザー

12月19日、病院1階ロビーでもちつき大会とふれあいバザーとが行われました。会場には大勢の患者さまやご家族の方、また地域の方々が集まり、楽しいイベントとなりました。

会場では餅つきに始まり、徐々に盛り上がりを見せ、朝10時のオープンにはバザーの品々や新鮮な野菜をお買い求めになる方やつきたてのお餅をほおぼる方々にぎわいました。ちびっこコーナーでは風車やバルーン作りなどを楽しむことができ、老若問わず賑やかな雰囲気となりました。大人も子供も「よいしょ、よいしょ」という掛け声と共に餅をつき、湯気の向こうには満足そうにあん餅、黄粉餅を召し上がる皆さまの顔が見られ、参加した職員一同幸せな気分になりました。

リハビリ室 三宅 正志



ヨイショ! ヨイショ!



バザーも野菜市も大好評

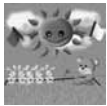


見学会のようす

病院見学会を開催

10月24日に地域の医療機関との連携を深めることを目的に、近隣の医療機関の先生方をお迎えして当院の施設見学会を開催しました。ご見学の後、当院の医師との意見交換会と懇親会では非常に貴重なご意見やご要望を頂くことができました。出来るところから対応させて頂き、より一層の連携を取らせて頂きます。今後とも各種広報活動や情報交換の場の設定等を企画していきたいと考えています。

事務長 松下 忠史



JFE西日本フェスティバルに参加して

11月3日 雲ひとつない秋空のもと、JFE西日本フェスティバルが始まりました。中央委員として何十回も通った構内の大きな道は、人とテントで覆い尽くされ、フェスティバルを一度も経験したことのない私は、その規模の大きさに圧倒されました。私たちのテントには、体脂肪計・血管年齢測定器が設置され終日大勢の人で賑わい、懐かしい人々にも会え、楽しいひと時を過ごしました。いつまでも若い時のままと信じていた私の血管年齢が、実年齢より10歳以上も老けていた重大事実が判明した事を除けば、大きなケガも無く、無事、今回の救護班としての役目を終えました。

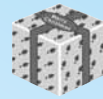
手術室 小椋 恵美



体脂肪はいくらかな？



サンタが病院にやってきた!



一年の最大のイベント、クリスマス会を12月17日に5階東病棟にて催しました。歌にゲームに、そして私たちスタッフがド派手な衣装をまとい、音楽に合わせて踊る余興を披露しました。楽しみにしていた患者さまも多くとても喜んで頂きました。最後はひと足早く、サンタクロスから患者さま一人一人にプレゼント。笑いあり、感激の涙ありの楽しいひと時でした。

5階東病棟 三宅 伴未

小児科外来でもサンタさんみーつけた!



外来 小林 昌子 作

外来診療のご案内

(※診療開始：9時)

診療科	受付時間	月	火	水	木	金	土
内科	8:30～11:30	○	○	○	○	○	○
	15:30～16:30	○	○	○	○	○	○
	16:30～18:30	○	○	○	○	○	○
外科	8:30～11:30	○	○	○	○	○	○
	15:30～16:30	○	○	○	○	○	○
	16:30～18:30	○	○	○	○	○	○
整形外科	8:30～11:30	○	○	○	○	○	○
	15:30～16:30	○	○	○	○	○	○
	16:30～18:30	○	○	○	○	○	○
小児科	8:30～11:30	○	○	○	○	○	○
	15:30～16:30	○	○	○	○	○	○
	16:30～17:30	○	○	○	○	○	○
眼科	8:30～11:30			○		○	
耳鼻咽喉科	8:30～11:30						○
	16:30～18:30	○					
歯科	8:30～11:30	○	○	○	○	○	○
	13:30～16:30	○	○	○	○	○	○
	16:30～18:30	○	○	○	○	○	○

交通アクセス



交通機関をご利用される方へ

両備バス<倉敷リバーサイド病院線>

・倉敷駅～大高～連島～倉敷リバーサイド病院 約30分 ・倉敷駅～中島～大橋～倉敷リバーサイド病院 約30分

JR「新倉敷駅」より、タクシーで約15分。 JR「倉敷駅」より、タクシーで約25分。

自家用車をご利用される方へ

山陽自動車道「玉島IC」より、約20分。

高梁川より西側の方

- 霞橋を目標にこられる場合
霞橋を渡って水島方面へ左折、JFE(旧川鉄)鶴の浦団地西側(高梁川堤防の下)の道を南下して下さい。
- 水玉ブリッジラインを目標にこられる場合
水玉料金所を出てすぐに右折して側道に入り、右折して水玉ブリッジラインの下をくぐり抜けると右手正面です。

高梁川より東側の方

- 霞橋を目標にこられる場合
429号線(旧2号)を橋の手前で水島方面へ左折、JFE(旧川鉄)鶴の浦団地西側(高梁川堤防の下)の道を南下して下さい。
- 水玉ブリッジラインを目標にこられる場合
水玉料金所の手前で左側側道に入り、右折して水玉ブリッジラインの下をくぐり抜けると右手正面です。

編集後記

あけましておめでとうございます。「私、18歳ですから」「魔女に魔法をかけられるだけですから」という台詞がとても気に入っています。皆様、心に魔法をかけられていませんか?魔法を解いて楽しく過ごしましょう。 放射線検査室 近藤 義昭

良いお正月を過ごされたでしょうか?香川県生まれの甘党の自分ですが、餡餅入り雑煮はテレビでしかお目にかかる機会がありません。毎年、今年こそは挑戦してみようと思うのですが…。 薬剤室 阿河 輝雄

今年の干支は鶏・酉(とり)ですね。とりと言えば手塚治虫のマンガ「火の鳥」を思い浮かべます。『永遠の生命』をもつ火の鳥、人面とは?生命とは?幼い頃に読んで考えさせられたことを思い出します。このとりの血を飲むと永遠のいのちが得られるそう…。発見できたらノーベル賞もらえるかな?億万長者になれるのかな? 臨床検査室 渡部 ゆかり

倉敷リバーサイドのホームページがリニューアルしました。

<http://www.kchnet.or.jp/krh/>

是非、アクセスして役に立つ情報をGetして下さい。

財団法人 倉敷中央病院
倉敷リバーサイド病院

〒712-8007

倉敷市鶴の浦2丁目6番11号

TEL 086-448-1111

FAX 086-448-1251

URL <http://www.kchnet.or.jp/krh/>

発行者：楠本 亨

編集責任者：松下 忠史

70900920©